

(2) 基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

基本施策5 自ら学びともに支える生涯学習の推進

個別施策	5-15 学習活動の促進
めざす姿	誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	95.5	96.9	93.5	90.8	94.0	87.2	100.0
＜成果指標の達成状況＞ R5と比較して6.8ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。多様な講座を開設するなかで、専門的かつ複雑性を持つ講座において、受講者の習熟度により評価が分かれるものが多かったことが要因と考えられます。							

令和6年度の主な取り組みの内容	
◆ 帯広市民大学講座の実施 市民が生涯にわたって学習する機会を提供することを目的とした「帯広市民大学講座」では、十勝・帯広の歴史や自然、食などの地域にまつわる講座や、豊かな暮らしづくりに役立つ講座、趣味・教養に関する講座など、様々なジャンルの講座を開講しました。 令和6年度は空き家の相続に関する講座や参加型の科学実験講座など新しい分野の講座も実施し、年間で49講座を実施し、参加人数は1,646人となりました。	 市民大学講座「ご自宅が空き家になった際の活用・相続について」の様子
◆ 飼育体験・教育講座の実施 飼育員の仕事を体験する「1日飼育係」や、ワークシートを使って動物の生態について学ぶ「おび Zoo 寺子屋」などの教育・体験講座を継続的に行っており、飼育員のガイドつきで園内の動物を観察する「おび Zoo 探検隊」は定員数を増やして実施しました。 飼育員が動物への給餌を行いながら説明する「モグっとガイド」を導入し、学習機会の充実を図りました。	 1日飼育係の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座では、49 講座開催し、延べ 1,646 人の参加がありました。また、生涯学習情報誌「まなびや」及び小学生向けの「まなびや特別号」の発行を行い、生涯学習活動やイベントの情報提供を行いました。 図書館では、社会教育施設と連携し、子ども向け講演会やプラネタリウムおはなし会を開催しました。 百年記念館では、調査・研究を活かした、博物館講座や郷土学習見学会を開催しました。 動物園では、SNS を活用して積極的に情報発信を行ったほか、飼育体験やおび Zoo 探検隊などの講座等を実施しました。
課題及び 今後の方向性	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座については、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、オンライン配信や開催時間の工夫、わかりやすい情報発信などにより、市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」により、情報発信を行います。 図書館においては、社会教育施設に限らず他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に拡大し、厚みのある事業に取り組みます。 百年記念館においては、博物館関係機関・大学等との連携を図りながら効果的な講座の開催、展示の企画に取り組みます。 動物園においては、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実を進めます。

個別施策	5-16 学習を通じたまちづくり
めざす姿	学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.3	21.5	25.4	26.2	28.5	28.7	31.0 以上
<成果指標の達成状況> R5と比較して0.2ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。ニーズやトレンドを的確に捉え、講座内容を見直したことで、市民の活動意欲の増進に寄与したことによるものと考えられます。							

令和6年度の主な取り組みの内容	
◆ 「語り手育成講習会」の開催 図書館では、平成14年度より、学校や地域で読み聞かせの読み手として活動したい人を、読書ボランティアとして育成することを目的に「語り手育成講習会」を開催しています。 令和6年度は、入門編・ステップアップ編に加え、将来的に読書ボランティアとなっていだけるような人材の働きかけも目的とした plus 編を2回開催し、初心者からベテランまで活用できる技術を学びました。	 語り手育成講習会（入門編）の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)自主的な学習活動の支援 図書館では、読み聞かせの技術向上のための「語り手育成講習会」を開催したほか、読み聞かせや朗読ボランティアと共催で事業を実施し、活動機会の提供をするとともに、関係団体と協働し市民への読書活動の推進に取り組みました。 百年記念館では、博物館ボランティアを対象に資料整理に関する研修会を開催したほか、当該ボランティアが、博物館における活動によって得た知識や経験をもとに、中心となって企画する出前のレコードコンサートを企画・開催しました。 動物園では、学生ボランティアとの連携を図り、来園者と動物とのふれあいのサポート等、活動の場を提供しました。 生涯学習推進委員会では、各地区ごとに多様な「コミュニティ講座」を開催し、地域の生涯学習活動の関心や意欲の向上、地域住民間の交流機会の活性化に取り組みました。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度のもと、教養・文化・スポーツ等の様々な分野において個々の能力を発揮して活躍する人物を指導者として登録したほか、地域における生涯学習活動の支援のために情報を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)自主的な学習活動の支援 図書館においては、ボランティアと情報交換を図りながら、知識技術の向上や活動に対する相談やアドバイスをを行い、相互連携を進めるとともに、活動を支援します。 百年記念館においては、資料整理などボランティアと連携した博物館活動を進めるほか、知識向上のために研修会等、学習機会の確保を進め、学習で得た知識や活かした新たな活動の場を提供します。 動物園においては、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援します。 地域の生涯学習活動においては、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で実施する様々な活動の支援に取り組みます。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用を図るため、市ホームページやSNS を効果的に活用しながら情報発信の強化を図り、登録者数の確保に取り組みます。

個別施策	5-17 社会教育施設の整備・管理運営
めざす姿	社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	96.5	97.3	92.3	91.0	94.1	92.3	100
＜成果指標の達成状況＞ R5と比較して1.8ポイント減少しておりますが、高水準を維持しています。引き続きソフト事業の充実など、新たな魅力づくりを進めていく必要があります。							

令和6年度の主な取り組みの内容	
◆ 児童会館における展示の拡充・バルコニー遊び場の開設 児童会館では、開館60周年記念事業に伴い、科学展示室の展示品導入のほか、バルコニー遊び場の開設を行いました。 また、施設の老朽化対策として照明器具のLED化やトイレ洋式化修繕を行いました。	 バルコニー遊び場（1階） 「こもれびぱーく」
◆ キリン館・屋内休憩施設の整備 「おびひろ動物園の魅力アップ（方針）」に基づき、屋内展示室や、2階の高さから外放飼場のキリンを観察できる屋外観覧通路など、展示の充実につながる設備を有する新たなキリン舎（キリン館）を整備しました。 また、乳幼児とその保護者などが楽しく安心して過ごせる、キッズコーナーや授乳室、おむつ替えスペース等を備えた屋内休憩施設の整備に向け、実施設計を行いました。	 令和6年8月に完成したキリン館

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 とかちプラザでは、外壁改修工事、空調機中央監視装置更新に係る工事、消防用設備修繕等を実施しました。 図書館では、照明制御設備の更新、無停電電源装置の蓄電池交換等を実施しました。 百年記念館では、外壁パネル修繕等を実施しました。 児童会館では、蛍光管照明のLED化、トイレ洋式化修繕を実施しました。 動物園では、「おびひろ動物園の魅力アップ（方針）」に基づき、キリン館を整備したほか、東エリア屋内休憩施設の整備に向けた実施設計を行いました。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザでは、親子向けの夏まつりイベントや学習成果発表の場となるプラザまつりなど、多くの事業を実施し、幅広い年齢層の方へ学習機会を提供しました。 図書館では、各種講座等において使用する多目的視聴覚室のプロジェクターを修繕し、安定稼働を図りました。 児童会館では、開館60周年記念事業を実施するとともに、各種イベントを通じて学習機会の提供を行いました。 百年記念館では、利用者アンケートを実施し、ニーズを踏まえた多様な学習機会を提供しました。 動物園では、一日飼育係やおび Zoo 探検隊等の講座を実施し、飼育体験等の学習機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 多くの社会教育施設では、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通じて、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザにおいては、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組みます。 図書館においては、適切な管理運営と図書館サービスの向上に取り組みます。 児童会館においては、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催するほか、学びと遊びの機能の充実に取り組みます。 百年記念館においては、アンケートを用いて利用者ニーズを確認し、地域の社会動向や課題を踏まえた多様な学習機会を提供するとともに、効果的かつ効率的に管理運営を進めます。 動物園においては、動物展示や来園者の利便性の向上に向けた施設整備、飼育体験等の学習機会の充実に取り組みます。

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

個別施策	6-18 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働
めざす姿	文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	64.7	45.1	43.4	51.1	56.1	53.2	65.0以上
<成果指標の達成状況> R5と比較して2.9ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。テレビやインターネット等による自宅での鑑賞活動が行えることや文化芸術に対する関心をもつ環境やきっかけが少ないこと等が要因と考えます。							

令和6年度の主な取り組みの内容	
◆ 第7回帯広市民オペラの開催 文化団体等が行う自主的な活動を支援し、市民の主体的な文化芸術活動を促進する取り組みを行っています。 令和6年度は、ソリストをはじめとする出演者、オーケストラのほか、企画、運営、公演に多くの文化団体・市民が参画し、第7回帯広市民オペラ「アイダ」が開催されました。 多くの市民によって創り上げられた公演を、2日間の上演で、1,757人の方に鑑賞いただきました。	 第7回帯広市民オペラ

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)市民文化芸術活動の促進 市民主体の文化芸術活動を支援するため、日頃の活動成果を発表する「市民芸術祭」や、地元在住の若手芸術家にスポットを当てた展覧会「北の構図展」を開催しました。 また、積極的に創作活動に励む子どもたちが、将来「市民文藝」への応募に続くよう、とまちジュニア文芸第15号を発刊しました。このほか、市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を行いました。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用し、文化団体の情報提供を行いました。また、文化活動を行う人材・団体の育成のため、文化賞、文化奨励賞、文化活動功労賞に、優秀な文化芸術活動を行う2個人・1団体を表彰したほか、文化活動への支援として事業補助・大会派遣補助を行いました。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施することで、市民に良質な文化芸術鑑賞機会を提供しました。また、北海道立帯広美術館の特別企画展「写真展 星野道夫 悠久の時を旅する」に参画し、市民が身近に芸術・文化に親しめる環境づくりに取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)市民文化芸術活動の促進 市民の主体的な文化芸術活動を促進するため、市民に発表の機会や交流の場を提供する事業を継続するほか、子どもたちの創作意欲をさらに高め、読解力・表現力の向上を図るため、「とまちジュニア文芸文章教室」を開催します。そのほか、市民の文化芸術活動を支援するため、今後も学校施設の開放事業を行います。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行います。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 市民の文化芸術への関心を高めるため、鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組みます。また、市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供するため、北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画します。

個別施策	6-19 文化資源の継承・活用
めざす姿	歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。
施策担当課	百年記念館

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	2,161	1,728	1,638	2,021	1,852	2,377	2,269 以上
＜成果指標の達成状況＞ R5と比較して525件増加しており、目標値を達成しました。東京大学による八千代C遺跡の調査で文化財への注目が集まったためと考えられます。							

令和6年度の主な取り組みの内容	
◆ 文化財の保存・活用 十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行ったほか、文化財を活用する事業として、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車4号及び客車コハ23号の公開を行いました。 令和6年度は、ぶらり帯広・文化財めぐりに16人が参加、十勝鉄道蒸気機関車4号及び客車コハ23号公開には175人が来場し、市民に広く文化財を公開する機会となりました。	 ぶらり帯広・文化財めぐりの様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)文化財等の調査・保存・活用 十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の内容の更新や修繕を行いました。また、埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整を行ったほか、動物園園路更新事業に伴い、落合遺跡の発掘調査を実施しました。文化財を活用する事業としては、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号の公開を行いました。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 「帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金」により活動の補助を行ったほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や体験講座等の講座を実施しました。
	(3)市史資料収集・保存 令和5年度の出来事をまとめた「年史報告書」を作成しました。また、古文書の連続講座や博物館講座などで、収集事業資料を公開しました。
課題及び 今後の方向性	(1)文化財等の調査・保存・活用 今後も文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の内容の更新や修繕を行います。また、文化財を活用する事業を継続して実施するほか、「八千代 A 遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、修理・美装化に取り組みます。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組みます。
	(3)市史資料収集・保存 「年史報告書」を作成に取り組むとともに、令和 14 年度に迎える帯広市開拓 150 年・市制施行 100 年を見据えて、関係課と情報・課題を共有しながら資料収集事業に取り組みます。

個別施策	6-20 文化施設の整備・管理運営
めざす姿	市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。
施策担当課	生涯学習文化課、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【H26～H30 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	83.0	84.3	87.6	97.0	97.0	97.0	88.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R5と同じ水準で、目標値を達成しています。計画的な修繕や利用者の声を反映し、施設サービスの改善を進めたことなどが評価されたものと考えます。							

令和6年度の主な取り組みの内容	
◆ 市民文化ホールの改修 市民文化ホールは、市民の文化芸術活動の発表や鑑賞の拠点施設として、多くの市民に利用されており、施設の特徴を踏まえながら、安全性や緊急性を考慮し、長寿命化等に向けた計画的かつ効率的な修繕・更新を進めていく必要があります。 令和6年度は、安全性確保のため、大ホールの絞り緞帳撤去及び引割幕開閉ランナーを更新したほか、大ホールの照明操作に必要な不可欠な調光操作卓の更新を実施し、施設の機能維持を目的とした施設整備を進めました。	 更新後の市民文化ホール 大ホール調光操作卓

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、市民文化ホールの絞り緞帳撤去及び引割幕開閉ランナー更新、大ホール調光操作卓の更新を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 市民文化ホールでは、計画的な施設整備を着実に進めたほか、指定管理者により、貸館時間を利用者の要望に応じて柔軟に拡大するなど、利用者ニーズを意識した適切な管理運営により、施設利用者から高い満足度が得られています。そのほか、市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上を図りながら、効果的・効率的な管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 文化施設においては、大半の施設で供用開始から30年以上が経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、優先順位を勘案しながら、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 市民文化ホールでは、鑑賞方法が直接鑑賞から映像媒体での鑑賞への変化が推察されることや、市民文化ホール提携駐車場の利用が浸透していないことの影響から、施設利用者が減少しているほか、燃料費や光熱水費等の物価高騰による運営経費の増大が課題となっています。引き続き、指定管理者等と連携しながら、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりや市民文化ホール提携駐車場に係る周知等に取り組むほか、施設利用者が利用可能な隣接駐車場の整備を引き続き事業者働きかけしていきます。また、利用状況や物価の動向を注視し、安定的な管理運営に取り組みます。

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

個別施策	7-21 多様なスポーツ活動の促進
めざす姿	誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	21.0	18.1	17.6	16.5	15.1	14.2	22.0以上
＜成果指標の達成状況＞ R5と比較して0.9ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。指導者不足や、スポーツ種目や習い事の多様化などが要因と考えられます。							

令和6年度の主な取り組みの内容	
◆ スポーツの振興 スポーツの普及・振興に貢献のあった人を顕彰するため、スポーツ賞・スポーツ奨励賞の表彰式を実施し、スポーツ賞において、功労部門1個人、成績部門3個人・2団体、スポーツ奨励賞において、5個人・2団体を表彰しました。	 表彰式の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) スポーツの振興 スポーツ振興及び更なる競技力の向上を図るため、競技大会への選手等の派遣支援等を行いました。また、スポーツの普及・振興に貢献のあった人を顕彰するため、スポーツ賞において、功労部門1個人、成績部門3個人・2団体、スポーツ奨励賞において、5個人・2団体を表彰しました。そのほか、各種全国・全道大会等の誘致や開催支援、合宿・プロスポーツ等の誘致を通して市民への観戦機会を提供しました。
	(2) スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 スポーツ少年団本部及び競技団体である帯広市スポーツ協会への支援を実施したほか、スポーツ少年団指導者育成の支援を行いました。
	(3) スケート競技の振興 スピードスケート競技の裾野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、競技者育成及び地域応援体制の整備を行ったほか、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1) スポーツの振興 競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進めます。
	(2) スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 各団体への支援を通じて指導者の育成を図り、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組みます。
	(3) スケート競技の振興 スピードスケートをはじめとした地域における各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援を行います。また、スピードスケート教室に対する地域の需要が高いことから、「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放などを通して、スケート競技の普及促進に取り組みます。

個別施策	7-22 スポーツによる活力のあるまちづくり
めざす姿	誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	1年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	82.4	82.0	90.1	95.9	94.0	94.5	87.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R5と比較して0.5ポイント増加し、目標値を達成しています。スポーツイベント・教室等の開催や総合型地域スポーツクラブの支援を実施し、気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めてきたほか、市内における各種国際・全国・全道大会やプロスポーツの試合等の開催などにより、人々のスポーツへの関心が高まったことによるものと考えられます。							

令和6年度の主な取り組みの内容	
◆ スポーツフェスティバル 10月のスポーツの日を中心に、市民が気軽にスポーツ活動を行うきっかけづくりとして、競技団体による初心者向け講習会・大会の実施や体育施設・学校プールの無料開放を行っています。 令和6年度は、27種目を実施し、3,024人の参加がありました。	 スポーツフェスティバルの様子
◆ スポーツ大会・合宿誘致事業 域外から本市で開催される大会の合宿に参加した団体に対し、関係機関と連携し、練習場所の確保等の合宿支援を実施しました。 誘致団体による地元中高生対象のスポーツ教室や競技者との交流などを実施しました。	 バレーボール教室の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 地域スポーツの振興 スポーツ推進委員会が中心となって実施する各種スポーツ教室を48回開催し、延べ1,220人が参加しました。また、地域住民が自ら企画・運営する9つの総合型地域スポーツクラブの運営支援を行ったほか、スポーツフェスティバルを開催し、27種目3,024人が参加しました。そのほか、市民が身近な場所でスポーツ活動を行うことができるよう、学校施設を開放し、延べ178,863人が利用しました。
	(2) スポーツ大会合宿等誘致 情報発信や競技団体と連携し、国際・全国・全道大会等の誘致を進めるとともに、開催支援を実施したほか、プロスポーツの誘致に取り組みました。また、フットバレーとかちマラソン大会は、5,463人がエントリーしました。
課題及び今後の方向性	(1) 地域スポーツの振興 総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催などを通じて、市民が気軽にスポーツに親しむ機会づくりに取り組みます。学校施設のスポーツ開放については、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、利用しやすい環境づくりと情報発信を行います。
	(2) スポーツ大会合宿等誘致 スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備を進めます。

個別施策	7-23 スポーツ施設の整備・管理運営
めざす姿	スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人がスポーツ施設を活用しています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	77.3	82.7	80.4	93.9	96.8	97.1	82.0 以上
<成果指標の達成状況> R5と比較して0.3ポイント増加し、目標値を達成しています。実績値の基としているアンケートの回答項目の「施設内の雰囲気の良い」と「運動用具・器具の数量の充実さ」について、いずれもR5より割合が増加しており、施設の適切な管理運営が行われたことが、利用者の満足度に繋がったものと考えられます。							

令和6年度の主な取り組みの内容	
◆ 帯広の森市民プールの改修 プールサイドの床面が経年劣化により剥がれてきている状況を改善するため、3期に分けて段階的にプールサイド床面を更新し、令和6年度に全ての工事が完了しました。	 プールサイド床面の工事

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、帯広の森市民プール可動床装置部品交換修繕、帯広の森運動施設変圧器・コンデンサ交換修繕、アイスアリーナ・スポーツセンターアイスホッケーライン・ポイント修繕、帯広の森体育館テニスコート用センター金具修繕、帯広の森運動施設高圧ケーブル等交換工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（3期）、帯広の森体育館駐車場外灯改修工事を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 スポーツ施設においては、多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間活力を生かした指定管理者制度やPFIによる事業方式を導入しています。また、パークゴルフ場においては、指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 スポーツ施設の多くが供用開始から30年以上経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度やPFIによる事業方式及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組みます。